

# 尾瀬国立公園

## 公園区域及び公園計画の変更 (第1次点検)

# ご説明の流れ

1. 尾瀬国立公園について
2. 今回変更(第1次点検)について
3. パブリックコメントの対応について

# ご説明の流れ

1. 尾瀬国立公園について
2. 今回変更(第1次点検)について
3. パブリックコメントの対応について

# 尾瀬国立公園の概要

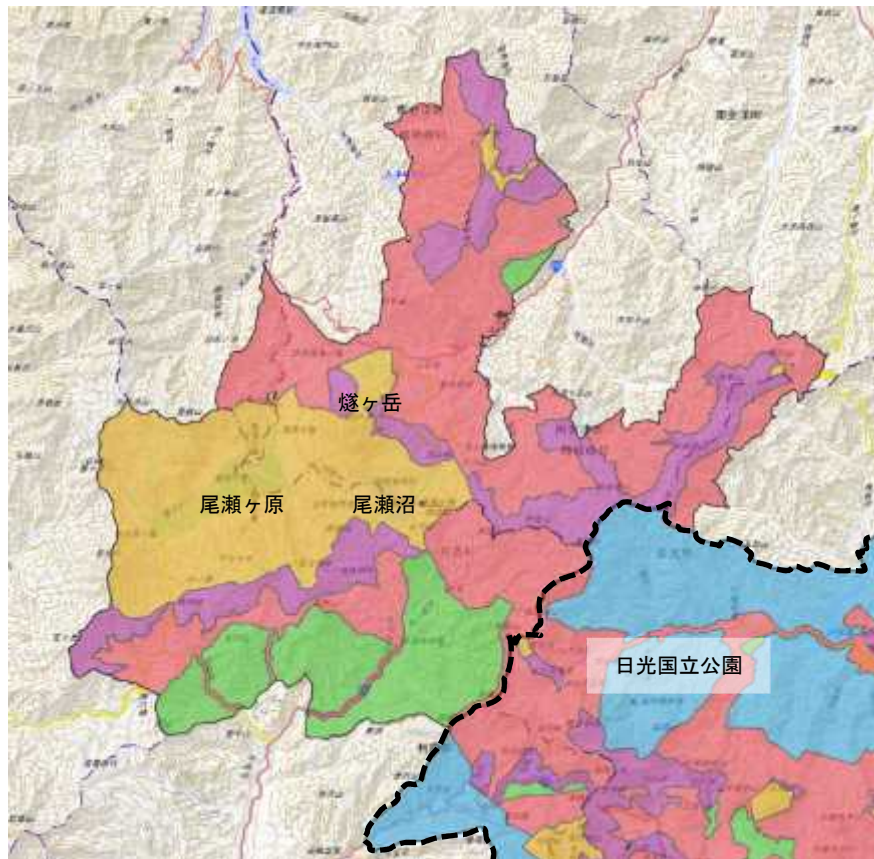
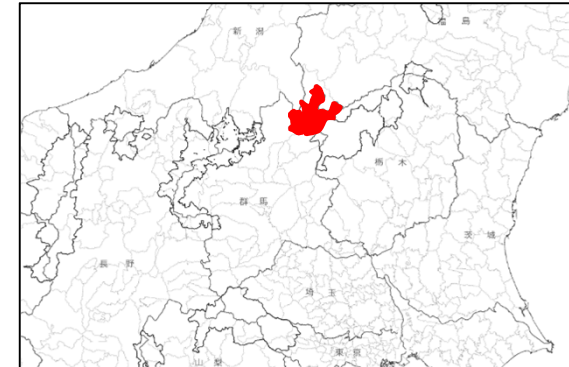


「名峰に囲まれ花咲き乱れる日本最大の山岳湿地～  
日本の自然保護運動発祥の地」



# 尾瀬国立公園の概要

- 指定：昭和19年8月30日
- 面積：37,222ha(福島、栃木、群馬、新潟)



公園区域図

## ● 風景形式

尾瀬沼及び尾瀬ヶ原の開放的な湿原及び湖沼景観とこれらを取りまく燧ヶ岳等の2,000m級の山岳からなる雄大な盆地景観、会津駒ヶ岳の稜線や田代山の山頂に広がる山地湿原景観等が特徴

## ● 見直しの経緯

- 昭和9年 日光NPの一部として尾瀬地域を指定
- 平成19年 日光NPから分離独立し、尾瀬国立公園として指定
- 令和3年 第一次点検(全域)

# ご説明の流れ

1. 尾瀬国立公園について
- 2. 今回変更(第1次点検)について**
3. パブリックコメントの対応について



# 今回変更のポイント

## 第1次点検の基本方針

指定後10年以上経過した公園区域の点検を行うとともに、「新・尾瀬ビジョン」の決定をはじめとした諸情勢の変化を踏まえ、公園計画の点検を行う。



## 変更内容

### ○指定理由、地域の概要等の更新

→公園計画作成要領等(H25改定)に準拠し、国立公園のテーマや利用の現況を記載。

### ○保護規制計画の変更

→既存区域線の凡例の変更や国土地理院数値に基づいた湖沼面積の修正を行う。

### ○利用施設計画の見直し

→利用上の必要性が乏しい単独施設の削除、登山道の適正利用のための歩道計画変更などを行う。

# 今回変更のポイント

## 新・尾瀬ビジョンの概要

～ 「あなた」と創る「みんな」の尾瀬 ～

### 新・尾瀬ビジョンとは？

尾瀬にかかわる「みんな」の想いをとりまとめた  
**“これからの尾瀬がめざす姿と方向性”**

最初の尾瀬ビジョン(2006年)の策定から10年以上が経過し、尾瀬を取り巻く自然的・社会的環境の変化等を踏まえ、将来を見据えたビジョンへと改定

#### 自然的・社会的環境の主な変化

- ① 少子高齢化・人口減少による影響
- ② ライフスタイルの変化とレジャーの多様化
- ③ 外国人旅行者の増加
- ④ 気候変動による自然生態系への影響
- ⑤ ニホンジカによる影響
- ⑥ 財政状況などの悪化

#### 活かしたい尾瀬の強み

- ① 歴史・伝統・文化の魅力
- ② 尾瀬が持つ普遍的価値
- ③ 自然保護の原点
- ④ ごみ持ち帰り運動発祥の地
- ⑤ 多様な主体が参加できる「仕組み」の存在
- ⑥ 一級の中での歩き、学び、宿泊できる特別感
- ⑦ 受け入れることができる利用者層の幅広さ

### 尾瀬がめざす姿

#### 「みんなに愛され続ける尾瀬」

- **生きものの視点**  
尾瀬本来の生きものがありのままに生きている
- **利用者の視点**  
いつ来ても楽しく誰もがわくわくできる
- **地域の視点**  
地域の人々が誇りを持っていきいきできる



### 行動理念

#### みんなの尾瀬を みんなで守り みんなで楽しむ

- |     |  |
|-----|--|
| みんな | 尾瀬の普遍的価値を広く発信し、尾瀬を愛する輪を広げていきましょう       |
| 守る  | かけがえのない尾瀬をみんなで守り育て、しっかりと次代に引き継いでいきましょう |
| 楽しむ | 自然を損なわない楽しみ方を考えながら、みんなが訪れたい尾瀬にしましょう    |



### 今後の方向性と必要な取組

#### みんなを守る

- ① 自然豊かな尾瀬づくり  
(これまでの取組の継承、貴重な自然環境の保護、植生の荒廃対策、外来植物対策)
- ② 歴史・伝統・文化が息づく尾瀬づくり  
(歴史・伝統・文化の保全、新しい歴史・伝統・文化の創造)
- ③ 野生動物との軋轢の解消  
(ニホンジカによる被害の低減、ツキノワグマとの共存、新たな被害への対応)
- ④ 科学的知見に基づく保全  
(調査研究の促進)



#### みんなを楽しむ

- ① 魅力あふれる尾瀬づくり  
(尾瀬の魅力向上)
- ② 幅広い楽しみ方の検討  
(多様な利用方法の検討、エコツーリズムの推進、地域における利用の役割分担、滞在型・周遊型利用の促進)
- ③ 楽しむための土台づくり  
(安全対策、施設の整備、ルール・マナーの検討・普及啓発、望ましい交通アクセスの検討)



#### みんなの尾瀬

- ① 愛される尾瀬づくり  
(尾瀬のファンづくり、尾瀬で学ぶ機会の拡大)
- ② モデルとなる尾瀬づくり  
(先進的な取組の推進)
- ③ 尾瀬を育てる仕組みづくり  
(多様な主体の参加と連携促進、担い手の育成、資金のサポートの呼びかけ)
- ④ 情報の効果的・効率的な発信  
(認知度の向上、情報の共有)
- ⑤ 尾瀬の現状把握  
(基本情報の収集)



#### 新・尾瀬ビジョン Q&A

「みんな」って誰のこと？

「みんな」には、尾瀬にいるすべての生きものも含まれます。「あなた」を始め、すでに尾瀬と関わっている人、まだ尾瀬との関わりに気付いていない人、これから尾瀬と関わっていく人が含まれています。

新・尾瀬ビジョンで考える範囲は？

尾瀬国立公園 十 周辺地域 三 尾瀬 です。自然を守るための普及啓発や魅力の発信などは、地域を限定せずに進めていきます。

「尾瀬がめざす姿」ってどういうこと？

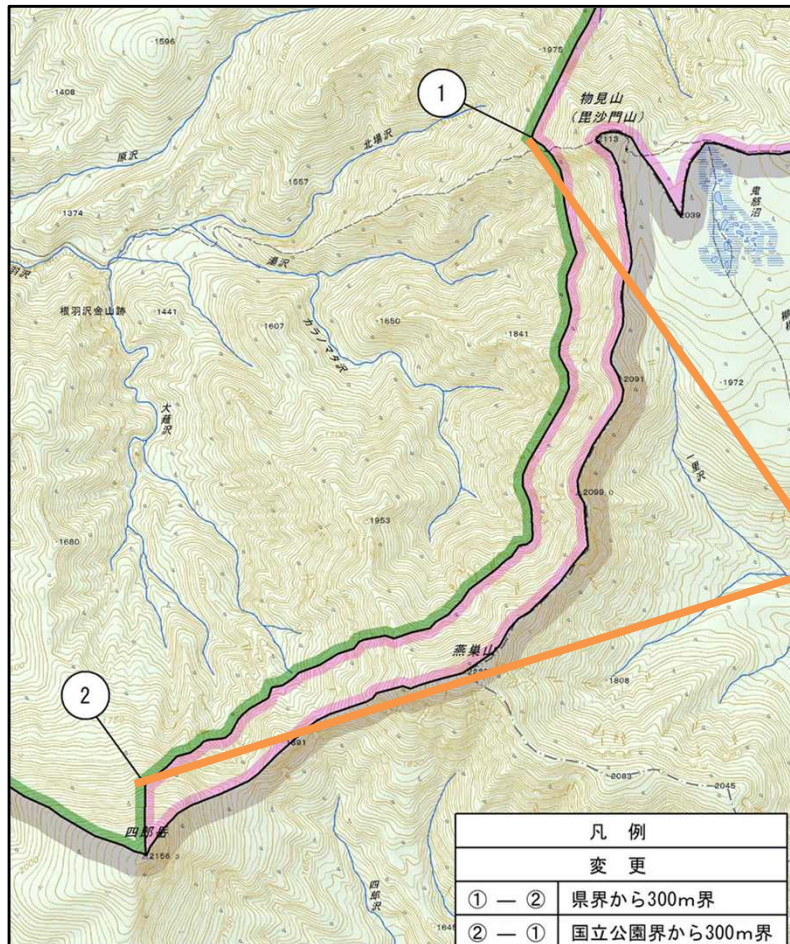
あなたや次代を担う子どもたちにとって、20年後の尾瀬がどうあってほしいか考えた姿です。



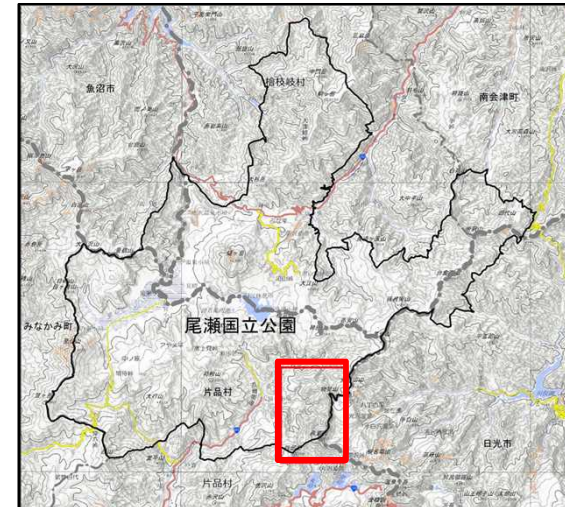
# ①保護規制計画について

## ○区域の明確化

既存区域線の凡例を変更する。



尾瀬国立公園計画図



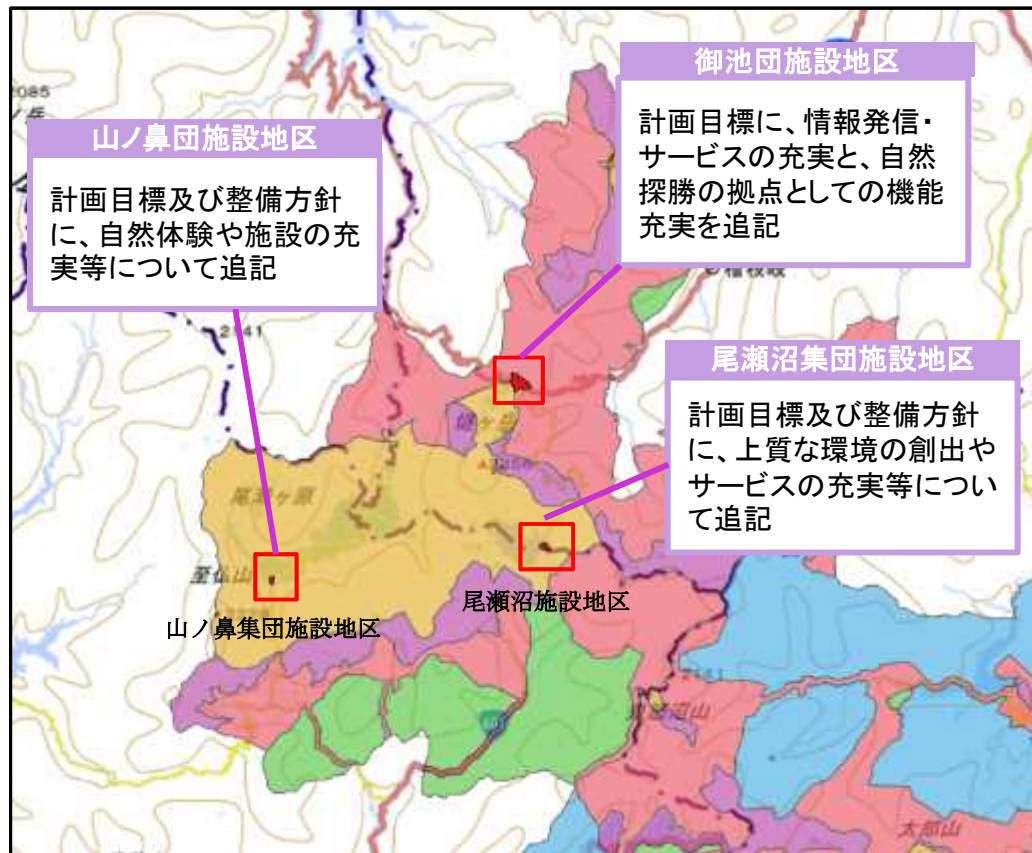
現状、「県界から300m界」となっているが、群馬県側は県界ではなく国立公園界から300mとなっているため、「国立公園界から300m界」へ変更する。

定義の修正のみであり、線の位置そのものは変わらない。

# ③利用施設計画の変更

## ○集団施設計画の計画目標等の変更

既存の集団施設地区について、今後の利用方針を踏まえ、計画目標及び整備方針の変更を行う。



御池集団施設地区



山の駅

尾瀬沼集団施設地区



尾瀬沼ビジターセンター

山ノ鼻集団施設地区



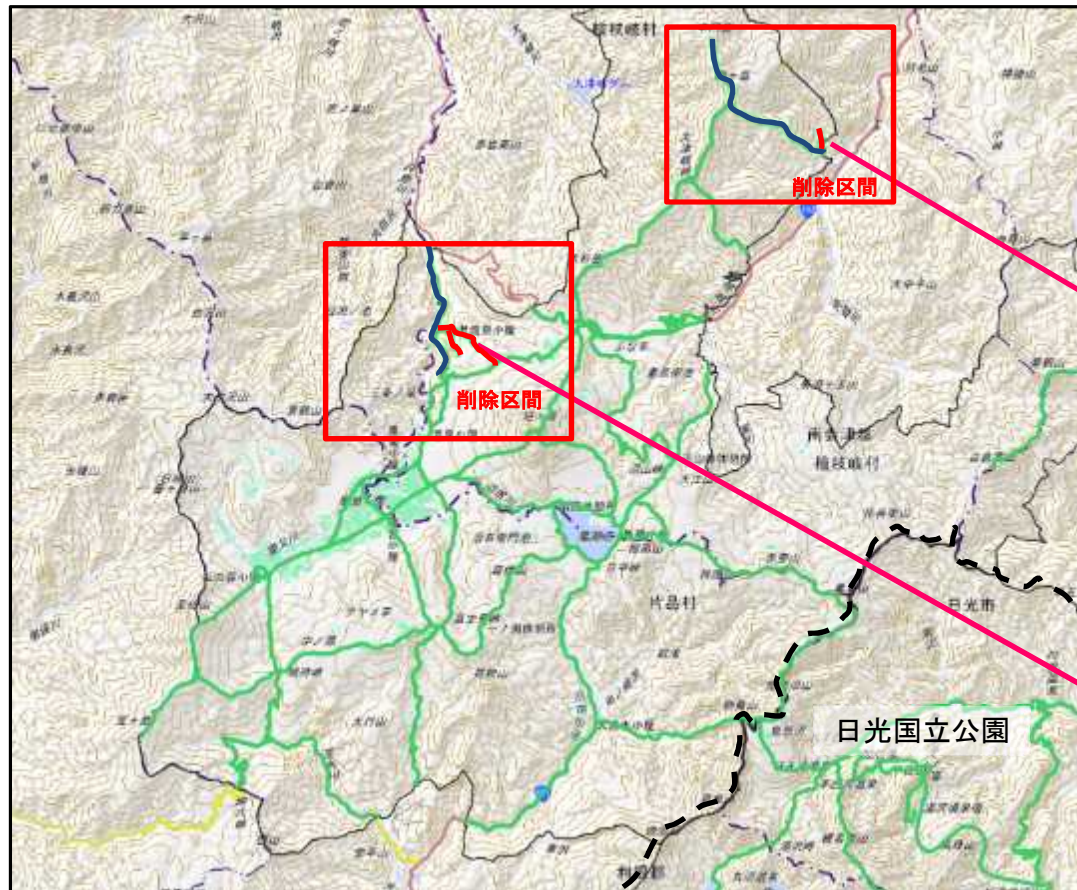
山ノ鼻ビジターセンター



# ④利用施設計画の変更

## ○道路(歩道)の削除

今後の整備の見込みがなく、公園利用上の必要性も乏しいことから、一部区間を削除する。



尾瀬国立公園計画図



会津駒ヶ岳登山線(歩道)

歩道の様子



小沢平裏燧線(歩道)

歩道の様子

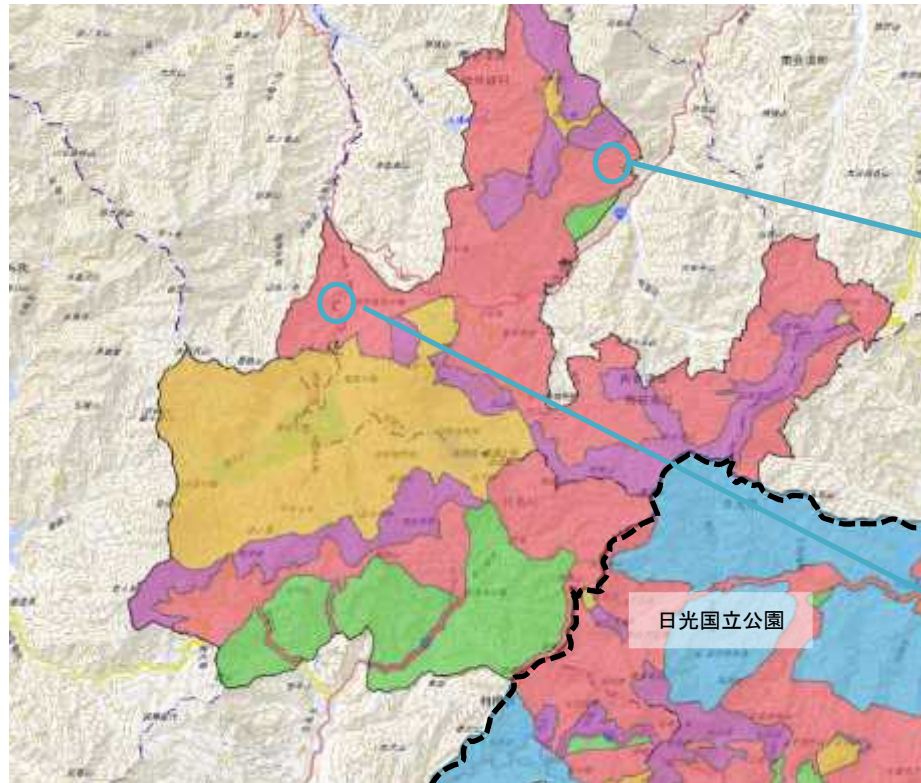




## ⑤利用施設計画の削除

### ○単独施設の削除

今後の整備の見込みがなく、公園利用上の必要性も乏しいことから削除する。



尾瀬国立公園計画図



下ノ原園地



渋沢温泉園地

跡地の様子





# ご説明の流れ

1. 尾瀬国立公園について
2. 今回変更(一部変更)について
3. **パブリックコメントの対応について**

# パブリックコメントの実施結果

## ■概要

・実施期間 令和2年11月14日(火)から11月28日(火)

・意見募集の結果 【意見提出数】

電子メールによるもの

計1通

今回の変更案にかかるもの

計1件